

地域協議会だより

Vol. 55 (2022 年 2 月 25 日発行)

長野県農業農村多面的機能発揮促進協議会



Y 春寒の候

三寒四温のこの頃、まだ寒い日もありますが、皆さまにおかれましては
お健やかに過ごしのことと存じます。

さて、今回は、令和 3 年度通常総会と、昨年 11 月から 12 月にかけて
開催した技術研修会の内容をご紹介します。

Y 令和 3 年度通常総会

令和 3 年度長野県農業農村多面的機能発揮促進協議会通常総会を 2 月 16 日(水)長野県土地改良会館で開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催方法を見直し、協議会規約第 18 条第 4 項の規定により、書面による議決とすることとしました。



●総会の内容

総会成立について

全会員 78 名からの書面議決により協議会規約第 15 条
第 6 項規定により、総会は開催されたものとし成立しました。

1. 議案

第 1 号議案 令和 4 年度事業計画(案)及び収支予算
(案)について

第 2 号議案 役員の選任について

2. 議決

第 1 号議案、第 2 号議案(賛成 78 反対 0 で可決)

3. 報告事項

○令和 3 年度事業実績見込及び予算の執行状況について

○令和 3 年度多面的機能支払事業の実施状況について



令和 4 年度主な年間事業計画

時 期	内 容
通 年	・協議会だよりの発行及びホームページの保守 ・活動区域情報システムの保守 ・組織の広域化に関する支援 ・市町村及び活動組織相談業務 ・活動の手引きの更新 ・市町村等との意見交換 ・関東農政局の抽出検査の対応支援 ・活動組織に対する研修会
4 月～9 月	・市町村担当者研修会 ・事業計画書等の審査支援 ・監査
10 月～3 月	・内部監査 ・技術研修会 ・活動組織の中間確認指導の支援 ・幹事会、通常総会

令和 4 年度の役員体制

役 員	所 属	職 名	氏 名
会 長	長野県土地改良事業団体連合会	常務理事	所 弘志
副会長	長野県	農業政策課長	塩川 ひろ恵
副会長	長野県農業協同組合中央会	常務理事	清水 勝彦
監 事	長野県農業会議	専務理事兼事務局長	伊藤 洋人
監 事	長野市	農林部長	櫻井 伸一

令和 3 年度の事業実績

事業	内容
活動計画書の事前確認	・市町村の確認事務の支援(新規 13 組織、再認定 44 組織 変更 62 組織、計 119 組織)
事務研修会	・書類作成や事業内容の理解を深めるため(42 会場、355 名)
技術研修会	・草刈機の安全な取扱い(松川町会場 23 名) ・多目的活動におけるドローンの活用方法(山ノ内町会場 22 名) ・水路の簡易補修のポイントと実際(白馬村会場 17 名) ・機能診断実践(大桑村会場 8 名、木曽町会場 2 名) ・鳥獣害防護柵の管理・補修等(上田市会場 25 名)
協議会だよりの発行	・研修内容や活動組織の活動内容を紹介(2 ヶ月に 1 回、年 6 回発行)
ホームページの更新	・県内の活動組織の情報の提供や事業実施に必要な様式の提供、 活動組織の取組エリアの掲載など
活動区域情報システムの 更新	・GIS 地図情報に取組み地域を入力新規 13 組織 ・活動区域情報システム一部機能更新 ・多面的機能支払事業活動区域データ作成

技術研修会 【開水路の補修】

11 月 12 日(金)白馬村三日市場公民館において、開水路の補修(目地補修)の技術研修会を開催し、三日市場農地・水保全会及び村内活動組織を中心に 17 名が参加されました。当日は朝からみぞれが降り、現地での実践研修が困難なため中止しました。

室内では「水路の簡易な補修マニュアル」DVD をご視聴いただき、「簡易補修のポイントと実際」についての説明を行いました。

また、公募でご参加いただいた、(株)ホクエツ・信越化学工業(株)・(株)ダイフレックスの 3 企業から、製品の紹介を受けました。



白馬村会場(三日市場公民館)

3 企業の製品紹介



(株)ホクエツ信越



信越化学工業(株)



(株)ダイフレックス

農業用水路の簡易補修適用性判定表

タイプ	症状	特徴と原因	対策	簡易補修の可否
目地の開き		目地材の劣化により、目地材が完全に剥離した場合に生じる	漏水防止の処置 補修材としてシーリング材、止水セメント、モルタル、テープなどが使用できる	○
目地の損傷		モルタルなど固まった後に伸び縮みしない材料では、目地の動きに追従できずに割れてしまう		○
ひび割れ (縦方向)		コンクリートが固まるときに発生するひび割れであり、それ以上成長する可能性は低い。本数も少なく、間隔をあけて発生している場合が多い		○
ひび割れ (斜め方向)		地震や地すべり、大型車両の通行など外から大きな力が加わって発生した可能性が高い	重大な損壊につながる場合があるため、状態を記録し専門家に相談 (水路の設置位置や構造の見直し、鉄筋の腐食対策や塩分などの原因物質の遮断など大がかりな対策が必要)	×
ひび割れ (亀甲状・網目状・直線)		凍害や塩害、アルカリ骨材反応と呼ばれる現象によって発生している可能性が高い。ひび割れがどんどん成長していく		×
摩耗		表面に凸凹がある。水の流れによりコンクリートが摩耗して、粗骨材といわれるコンクリート中の砂利が表面に現れることにより生じる	コンクリート粗骨材がはがれているなど状態が悪化していく場合、専門業者に補修を依頼(壁の厚さを修復する作業等)	×
穴あき		コンクリートを打設したときの締め固め不足などにより発生する。放っておくと中の鉄筋が腐食したり、粗骨材が剥がれ、壁の反対側まで穴が貫通することもある	専門業者に補修を依頼。ただし表面を叩いても粗骨材が剥がれず、穴の深さが3cm程度までであれば簡易補修による対応が可能	△
沈下・たわみ・変形		広範囲にわたって構造物の沈下や蛇行、段差が生じている場合は地盤沈下が原因。周辺地盤の陥没、ひび割れ、背面土の空洞化が生じている場合は土砂の流出が原因。たわみ、変形は目視で確認でき、周辺地盤の外力が原因	重大な損壊につながる場合があるため、状態を記録し専門家に相談	×

地域協議会だより

【機能診断実践研修】

11月29日(月)大桑村と12月6日(月)木曽町において機能診断実践研修会を行い、大桑村8名木曽町2名が参加されました。両役場の会議室で機能診断に関わる留意事項についての説明を行いました。

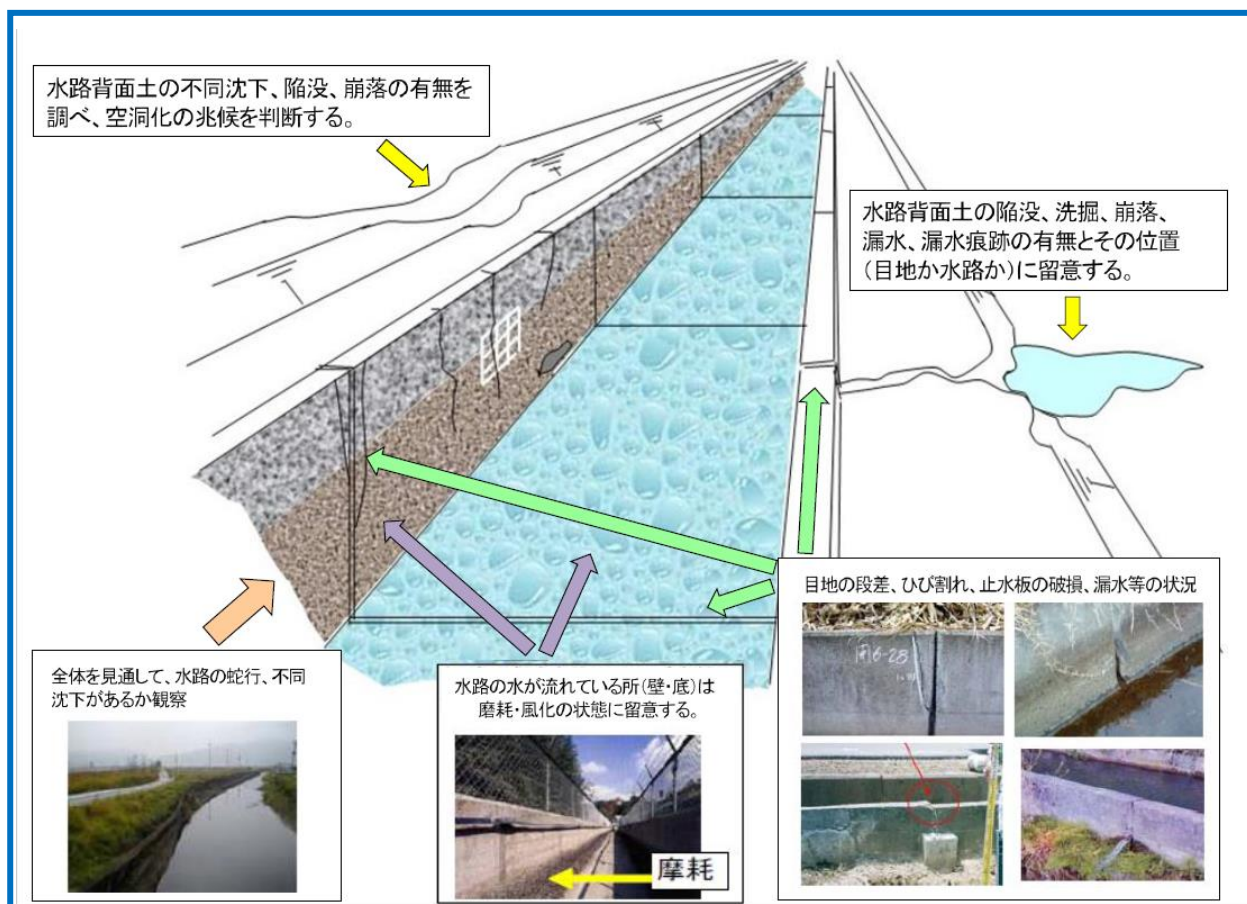


11/29 大桑村会場(大桑村役場会議室)



12/6 木曽町 三岳支所(支所会議室)

コンクリート開水路における現地調査の留意点



【鳥獣害防護柵の管理・補修等について】

12月9日(木)上田市塩田構造改善センターにおいて鳥獣害防護柵の管理・補修についての研修会を行いました。当日は上田市水土里会(富士山水土里会)を中心に25名が参加されました。

研修では、農産物野生鳥獣害被害対策アドバイザー(農林水産省登録)で長野県上伊那地域振興局上伊那農業農村支援センター菅澤 勉氏を講師としてお迎えし、「鳥獣害防護柵の管理・補修」のテーマでご講義をいただきました。講義に続き現地研修として、富士山水土里会の鳥獣害防止柵を見学し、講師より現地指導を受けました。



(塩田構造改善センター)



(富士山水土里会・鳥獣害防護柵)



野生鳥獣の被害対策

● 基本戦略(大きな3本柱)

- | | |
|-------------------------------------|------------|
| ☐ 農地周辺の環境整備 | (近づけない) |
| 緩衝帯整備、エサ資源の低減、追い払いなど | |
| ☐ 防護柵による囲い込み | (侵入させない) |
| ☐ 個体数調整 | (生息密度を下げる) |
| 捕獲 | |

地域協議会だより

農作物を守る「柵」の基本的考え方

動物園で使用する柵と違い、農作物を守る柵は、コストの限界があり、**どのような柵を選択しても100%防ぐことは難しい。**



設置後のメンテナンス(点検・管理、弱点の強化など)により、**侵入防止効果が0%~99%まで変わる。**



集落、農家の取り組み方により、大きな差が出る

防護柵の種類と特徴

- ・物理柵 → **強度と高さを持った柵**により動物の侵入を防ぐ。
動物に併せた高さ・強度が必要。
- ・電気柵(心理柵) → **動物が慣れることのない痛み(電気ショック)を経験させて**、動物の警戒心により、柵に近寄りにくくさせる。
登ことが可能なサル、クマ、ハクビシンは電気柵が必要。
- ・物理柵+電気柵 → **物理柵と電気柵を併用した柵**。電気柵のみより、除草管理などしやすくなる利点がある。

事務局から

「地域協議だより」の発行は、今年度最後になります。本年度もコロナ禍の対応となり、各事業が従来通りに行えず、少人数での対応になり、皆さま方には大変ご迷惑をお掛けしました。一年間ありがとうございました。



■問い合わせ先

長野県農業農村多面的機能発揮促進協議会
(担当: 田中・白石)

TEL 026-219-6351 FAX 026-219-6352

Eメール nagano-tamenteki@wonder.ocn.ne.jp

URL <http://www.nagano-nouchimizu.net/>